



平成30年 2月



ゆき！



食育
七草粥



郵便屋さんごっこ：年賀状を書いて、お友だちや園中の色々な先生にお届けしました。



★ 鏡開き集会・おもちつき 1月11日に幼児クラスで鏡開き集会を行いました。玄関に飾ってあった鏡もちを持ってきて、その一つひとつの名称や由来の話をしました。名称を紹介するとき子どもたちにも一緒に声に出して言ってもらいながら、丁寧に話を進めていきました。いよいよ鏡もちを開く場面になった時、たいよう組の子どもたちにお手伝いをお願いすると、「やりたい」「開けるよ」と目を輝かせていました。木槌を渡すと一人一回ずつ鏡もちを叩き開いていきました。だんだんヒビが入ってくると「あともう少しで開く」と前のめりに見ていました。最後は先生たちで仕上げ。細かく開けた鏡もちは一人数ずつ観察しました。鏡開きの次の日はお餅つきがありました。普通のお米ともち米の違いをまず最初に観察。「二つのお米を見比べてごらん。ちょっと違うよ」と話をするとじっと真剣な表情で見えていました。その後園長先生からもち米を蒸かしている様子を見せてもらい、蒸かしたてのもち米を食べてみました。「よく噛むとモチモチしてくるよ」と教えられ、噛んでいると「本当だ。口の中でお餅になった」と驚いていました。実際に杵を持って、年の数だけお餅を搗きました。搗くときに「よいしょー」と掛け声が入り、みんなの声が園庭に響き渡りました。その後、きな粉とゴマのかかったお餅を食べ「おいしい」「やわらかい」「もっと食べたいなあ」とそれぞれ感想を言う様子もみられ、子どもたちにもよい経験になったようです。



月に数回、村岡先生によるリズム（リトミック）の時間があります。軽快なピアノのリズムに合わせて、「リス」に変身して小刻みに歩いてみたり、「とんぼ」に変身して片足をあげてバランスを取ったりしながら、表現することを楽しんでいます。やま組のリズムに今月移行で来ていたにじ組が参加しました。やま組は見本として張り切っていて、にじ組はそれをお手本にかわいらしく動物などを表現していました。異年齢交流でまた子どもたちの違った一面や成長が伺えました。



2月3日の節分に向けて「鬼のお面」の製作が各クラス、スタートしました。まずはじめに、作り方の紹介とともに「2月3日は節分。心の中にある悪い気（鬼）を追い払うために豆まきをします。みんなはどんな鬼を作りますか？」と話をすると、「怒りんぼ鬼にする」「泣き虫鬼だよ」など子どもたちからも色々作りたい鬼が出てきてイメージを膨らませていました。各クラス画用紙のサイズは違いますが、ハサミを使って切っていました。顔のパーツも色々な形があるのでそれを自分で選んで貼り付けていきました。顔のパーツは貼る位置や、角度で微妙な表情の違いが出て、かなり個性が出る場所。子どもたち一人ひとり、なかなか迫力のある鬼が出来上がりましたよ。

お豆を入れる升も製作しました。少し大きめの紙を使用し、先生の見本をよく見ながら折っていきました。「端をしっかりと合わせてね」と声を掛けると真剣に取り組んでいました。年長児の中には、折り方が分かってくると、困っているお友達を見つけ「お手伝いするよ。ここはこうやって折るんだよ。」と教え合う姿も見られました。



★ 2月26日に進級・卒園写真撮影があります。たいよう組は卒園式に着る服をご用意ください。事前に集めますので、2/19（月）～2/23（金）までにお持ちください。

★ 卒園式の服装について

★たいよう組・・・当日は胸に記章をつけますので、胸にコサージュなどの飾りがついていると支障が出てしまう可能性があります。ご注意ください。

★うみ組・・・クリスマス会の合奏時の服装で結構です。

また、当日ご都合に差し支えある場合は、無理せずお休み下さい。

★ 2月28日（水）にクッキングを予定しています。エプロンセットのご用意をお願いします。

★ 手、足の爪は伸びていないか確認し、伸びている場合は必ず切ってください。

よろしくお願いします。